



2013年4月～2014年3月
年間報告書



Child Needs Home

アジアの子どもたちに教育を届けたい



教育支援事業



エイズ孤児や貧困家庭の子どもで人身売買のリスクが高い子どもを対象に学費の支援をしています。

定期的な子どもの家庭訪問を行い、子どもの成績、家族の経済状況を調査し、継続的に子どもが学校に通える状況であるか（経済状況が悪化していないか）評価しています。

支援している子ども（一部）



両親がエイズで死亡、親戚の家で預けられているが、親戚の家は経済的に厳しく、学校へ通わせることができなかったため、支援開始。



父親が死亡し、母親は経済的に厳しく姉に子どもを預けたが、姉は子どもが多く、この子を学校へ通わせ続けるのが困難なため支援開始。

子どもたちの声

隣の家のお友達が勉強しているのを見て土の上に字を書く練習をしていたけど、学校に通うことができ、よかった。今はノートに字を書く練習をしています。日本のお母さんありがとう。

保健教育事業



妊娠のメカニズムの知識を持たない村民に対し、妊娠や月経に関する保健教育を行いました。その際、アンケート調査を行いました。村民は保健教育を某団体から受けたことがあります。ミャンマー語での講義で、意味が分からなかったという答えがありました。当団体はシャン語（現地語）で講義を行っており、アンケートの結果からも「家族計画」を考えたことがなかった住民が、「家族計画」の大切さがわかったという答えがあり、効果的な指導を行えています。

村民から、妊娠や月経のメカニズムの他、子宮癌について知りたいという希望が多く平成 26 年度は妊娠や月経のメカニズム以外にも婦人科疾患について説明を行っていきたくて考えています。平成 25 年度は一つの村で実施しましたが、今後は、さらに多くの村で活動していく予定です。平成 25 年度は日本人が講義していますが、今後は現地人が講義をできるように調整し、さらに多くの村民に正しい知識を広げていきたくて考えています。



村民の声



3年に1回出産しているから、子どもは3年に1回できるもんだと思っていました、月経に周期があつて、排卵日があつて、それが妊娠と関係するなんて初めて知りました。これからは、家族計画を考えて妊娠にのぞみたいです。



11月に京都で開かれたアジアフェスティバルに参加してきました。

ミャンマーについて知ってもらうためにポスター展示をしました。来場された方にミャンマーの悲惨な現状についてお話ししました。

2013年収支報告	(単位：円)
I 計上収益	
1、受取会費	49,560
2、受取寄付金	251,647
3、受取助成金	0
4、事業収益	46,300
5、その他収益	0
計上収益計	347,507
II 計上経費	
1、事業費	15,4730
2、管理費	49,349
3、予備費	0
経常費用計	204,079
III 経常外収益	
利子	53
経常外収益計	53
IV 経常外費用	
前期繰越修正額	0
経常外費用計	0
当期正味財産増減額	143,481
前期繰越正味財産額	0
次期繰越正味財産額	143,481

今の日本人が何に一番悩んでいるかという。一番の長者大国であるにも関わらず、健康があげられるそうです。私がミャンマーに住んでいた時の話です。村人から、看護師の私に「知り合いの女性が、足が痛くて動けなくなったから、診に来て欲しい」と言われました。その女性は、不整脈持ちだということを知りました。私は不整脈の一種である心房細動から血栓がとんで、静脈瘤が足に出来たのか、もしくは、動脈硬化で足の動脈が詰まったのかと彼女に会う前に頭の中で診断していました。ところが、静脈瘤もありません。足の一部が冷たくなっているわけでもありません。全く動けないため、近くの病院で診てもらいました。

病名は脚気（カッケ）でした。そうかあ、ここはミャンマーだと思わされました。

彼女はビタミン B1 不足からなる病気におかされていました。彼女には子どもがいました。貧しい家庭で、日々の食べるものに困っていました。彼女は栄養があるものを買えた日は、子どもたちに与え、彼女自身は一切食べずに生きてきたそうです。

日本人は、健康であるにも関わらず、将来の健康について 悩み、健康の為にサプリメントを買います。

ミャンマーの人々は、毎日の食べるものにも事欠き、子どもを育てることが出来ず、他人に預けてしまいます。そんな子どもたちは、売春や人身売買のターゲットとなります。そして、HIVに感染し、悲しい最期を迎えるのです。Child Needs Home のビジョンは、子どもたちが安全で安心した生活を送り「幸せだ」と思える人生を送ることのできる社会を形成することです。

あなたの力で、子どもたちの道は開けます。今後ともご支援宜しくお願いします。

活動の支援の方法

【皆様のご厚意の下、アジアの子どもたちに教育をと届ける活動に励んでまいります。】

① 支援方法は会員制度 ②チャイルドスポンサー制度 ③寄付の3種類があります。

① 会員制度

正会員 5000 円 学生会員 3000 円

① チャイルドスポンサー制度

・寄付金額 (子ども一人当たり/月々) 3000 円 4000 円 5000 円

※5000 円の会員費をお支払頂かなくとも正会員となります。

② 寄付

★会員や寄付はこちらの口座にお振込み宜しくお願い致します。

クレジットカードでのお振込みも可能です。(ホームページをご参照ください。)

ゆうちょ銀行からのお振込み

振込先「郵便振替口座」口座番号 00870-3-110656

加入者名:Child Needs Home

ゆうちょ銀行以外からのお振込み

振込先「郵便振替座」預金種目：当座

口座番号：0110656

店名 (店番)：〇八九 (ゼロハチキュウ) 店 089

加入者名：Child Needs Home



★チャイルドスポンサー制度にお申し込み方は事務所にご連絡ください。

お問い合わせ：Child Needs Home

〒471-0035 愛知県豊田市小坂町 11 丁目 5 ラシュレ小坂 403 号

TEL：070-5031-4728 Email: childneedshome@gmail.com

URL: <http://www.childneedshome.jp/>

あなたの力で子どもたちの道は開けます。